

校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成27年7月17日 NO.13

第1学期終業式

7月17日(金)体育館にて、第1学期終業式が行われました。今学期は、春に運動会が移行し、さらに様々な行事もたくさんありましたが、全てをやり切り子供達も大きく成長しました。教科学習では、それぞれの学年が、発達段階に応じ学力を伸ばさせることができました。保護者・地域の皆様に見守られ、皆が元気に終業式を迎えられたことを大変嬉しく思います。

終業式では、一人一人の学習や生活の頑張りの姿を表した『あゆみ』について、クラス代表児童の紹介をしました。次に学校長より、夏休みについてのお話がありました。まず、『45・13・9』の数字が提示され、何の数字かを全校で考えました。また、夏休みの特徴について、長いお休みであること、遠くへ出掛ける機会も多くなること、さらに、家族と過ごす時間も多くなるということなど話がありました。そして、それぞれの学年が、どのような夏休みを迎えればよいかをよく考えてもらうことにしました。詳しくは、『国立てくてくの43号』をご覧ください。

その後、児童代表の言葉があり、愛唱歌・校歌を歌い、転出児童紹介、夏休み水泳教室、最後に生活指導のお話がありました。

無事故・安全で楽しい夏休みになることを祈っております。

9月1日には、みんなで明るく元気に笑顔で集い合いましょう。

第2回国立七小『学校寄席』・全校朝会

昨年度、児童の「話す・聞く」の言語能力向上をねらいとして、セミプロの落語家きんりゅうていはいしゅうの今柳亭波舟様(本名:齊藤潤司様)をお招きしました。今回はその2回目の七小学校寄席として7月4日(土)に行われました。波舟様のお友達で、落語家の橘ノ圓滿様(本名:星野晴紀様)にも来ていただきました。橘ノ圓滿様は、現在二つ目ではありますが、今年中には真打ちになれるという方で、真正銘のプロであります。本物の落語を体験し、話し方や話す時に気をつけることなど、とてもよい勉強になりました。今後も毎年実施していきたいと考えています。

また、7月14日(火)には、副校長の笹河先生、音楽専科の大平先生、スマイル学級の前田先生が、それぞれ、ベース、ピアノ、ドラムと素晴らしい腕前を全校児童の前で披露してくれました。これは、前回の全校朝会文化達人・名人シリーズ第2弾というものです。曲は『君をのせて』のジャズバージョンにアレンジしたものでした。国立市教育委員会統括指導主事の市川先生もご来校いただき、『先生方の生演奏を聴く児童のまなざし、終わった後に大きな拍手をする児童の姿から、児童は多くのことを学んでいると感じました。』とのお言葉をいただきました。今後も、プロの音楽家による日本の歌曲やバイオリン演奏なども企画中です。保護者・地域の皆様もお時間がありましたら、ぜひご来校下さい。詳細は後日お知らせいたします。



国立七小見守り会の皆さん!本当にありがとうございました!

歩道橋で足を捻挫した児童を、優しく校門まで送ってきてくれる見守り会の方。忘れ物をして遅くなり、心配しながら登校する児童に親切に寄り添い、一緒に来てくれる見守り会の方など。見守り会の皆様には、大変お世話になり心より感謝しております。これからもご健康に留意しながら、子供達の安全登校をよろしくお願い申し上げます。なお、今回(7月15日)の意見交換会には、立川警察署の生活安全課の警察官の方も参加していただき、お話や質疑応答なども行いました。1学期の見守り活動、本当にありがとうございました。今後もどうかよろしく願いいたします。